

2018年度後期別科在籍生に対する 生活・学習実態および意識調査

Questionnaire survey on living
and learning conditions and awareness of
Japanese program students in autumn semester 2018

澤野 勝巳・高山 幸巳・田 渕 敬 光

要 旨

2018年後期在籍の別科生37名に対して、アンケートによる生活実態および意識調査を実施した。計44の質問に対する回答から得られた学生たちの日本留学や別科への期待、生活実態、日本語および日本文化の学習や進路に対する意識や困難などの相関性を分析し、今後の学習指導、進路指導の方向性および学習環境の改善について考察した。

キーワード：別科生、生活・学習実態、進路、主体性

1. はじめに

昨年2017年10月、当時在籍していた別科生49名に対し、アンケートによる生活・学習実態および意識調査を実施したところ、これまで授業や進路・生活指導を担当してきた教職員が十分把握できていなかった問題点や課題が複数浮かび上がった。中でも、日本文化専修課程における日本語以外の科目学習に対する消極性、希望進路の決定や準備における主体性の欠如、教室外での日本語を使用する機会の少なさなどは重大な問題であると認識した。そこで、早急に対策を立て、2018年度前期より積極的に取り組んできたが、果たしてその効果は出ているのか、また、年度が変わり調査対象者が異なる場合、新たな傾向や問題が発生していないかどうか。これらの疑問に対する答えを見つけ、更なる改善に役立てるため、昨年度同様のアンケート調査を再度実施することにした。

1-1. 調査目的

現在別科の授業を担当する教員及び事務職員が、在籍する学生達の生活実態、学習状況、学習や進路に対する意識及び困難を把握・理解し、今後の学習指導、進路指導、学

習環境の改善等に役立てることを目的とする。

1-2. 調査の概要

2018年春入学および秋入学の日本語専修課程・日本文化専修課程を履修する学生37名を対象に、留学目的、当科選択の理由、現在の学習状況、生活環境、進路の予定、当科に対する希望など、計44の質問項目をまとめたアンケート調査を実施した。アンケートは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の「私費外国人留学生生活実態調査」の平成27年度私費外国人留学生生活実態調査アンケート用紙¹を参考に作成した2017年度版とほぼ同じ内容で行った（一部表現のみ修正）。

調査期間は、2018年10月19日からの約2週間で、37名全員からの有効回答を得た。

調査で得られたデータは、設問ごとに集計、グラフ化し、重回帰分析によって各設問の相関関係を見た。

2. 調査結果の概要

調査の結果は以下の表1のとおりである²。ここでは、本調査の集計結果を整理する。本調査における各設問の分類としては、Q1～Q10は概ね学生の基本情報および別科入学以前の動向についての設問である。Q11～Q18は、概ね学生の学習環境や素地を問うている。そして、Q19～Q25およびQ34では、学生の生活面の実態に関するものを問うている。Q26～Q33は、学習面に関する設問である。Q35～Q40は、学生の進路に関する設問となっている。最後にQ41～Q44で、「授業に対する希望」、「授業環境に対する希望」、「進路指導に対する希望」、「その他」について自由に記述させた³。

2-1. 学生の基本情報および別科入学以前の動向

各設問の集計結果をみると、Q1は学生の性別を問うたものであり、男性24名、女性13名となっている。次に学生の国籍をみると、中国が20名と最も多く、次いでベトナム15名、その他の国が2名という構成である。Q3は別科のコースの別であるが、日本文化専修課程が32名と86%を占めている。Q4では、留学先として日本を選んだ理由について問うた（複数回答可）。その結果、日本の専門学校や大学などの教育、専門に興味があったとする回答が25で最も多く、次に多かったのが、日本文化や日本社会に興味があって、日本で生活したかったからとする回答（20）であった。Q5の最終学歴

1 http://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj_chosa/h27.html

2 各設問の選択肢に関しては付録資料のアンケート用紙を参照されたい。

3 回答には個人を特定できる記述があったため、本稿では扱わない。

では、高卒者が19名と最も多いが、4年制の大卒者も14名と比較的多かった。Q6では、日本での滞在期間を問うているが、2年～3年未満とする回答が23名で最も多かった。Q7の別科に直接入学したかどうかの問いでは、いいえと回答した学生が26名と最も多かった。Q8では、Q7でいいえと答えた学生に対して別科入学前に何をしていたかを問うている。最も多かったのがやはり日本語学校とする回答（25名）であった。Q9はQ8と同様にQ7でいいえと答えた学生に対して別科を知ったきっかけについて問うた。その結果、学校の先生から情報を得たとする学生が16名と最も多かった。Q10では、数ある進路の中でなぜ別科を選んだのかについての設問である（複数回答可）。最も多かったのが、授業の内容がよさそうだから（回答数25）であった。

学生の基本情報および別科入学以前の動向に関しては、一部を除いて昨年度とほぼ同様の結果となっている。それでは、学生の学習環境や素地についてはどうだろうか。次項ではこれについてみていきたい。

2-2. 学生の学習環境・素地

Q11は学生が現在までどれくらいの期間日本語を学習してきたのかについての問いであり、2年～2年6か月未満とする回答が圧倒的に多く14名であった。Q12では学生の日本語能力試験（JLPT）のレベルを問うているが、最も多かったのがN3で11名であった。昨年度最も多かった「資格なし」の学生は5名と全体で2番目に低い数字となっている。Q13では今後、進学や就職をするうえでJLPTが必要となるかを聞いており、必要と答えた学生が30名であった。また、Q14で日本留学試験（EJU）の受験歴を問うたが、受験したことがないとする回答が25名と受験経験のある学生に比べて倍近くいることがわかった。次に、Q15でEJU受験経験者に対してEJUの日本語科目の得点を聞いているが201～250点とする学生が5名で最も多く、次に多かったのが、昨年度最も多かった151～200点とする学生で3名（昨年度：5名）であった。JLPTと同様にEJUの必要性に関してもQ16で聞いているが、必要ないとする学生のほうがやや多く20名であったが、昨年度に比べると必要とする学生の割合が増加している（昨年度：35%、今年度：46%）。また、Q17およびQ18で自宅等での学習時間（1週間）を問うた。日本語、日本語以外の科目どちらも7時間未満とする回答が最も多く、日本語は19名で日本語以外は23名であった。昨年度と比べると日本語の学習時間が短くなっている。

以上のように学生の学習環境・素地に関しては、昨年度と相違する項目がいくつかあり、特にJLPT取得級が高くなった反面、日本語の学習時間が短くなっていることが明らかとなった。それでは、生活面の実態に関してはどうであろうか。

2-3. 生活面の実態

Q19では、自宅から別科までの通学時間を聞いているが、昨年度と同様に30分～1

時間未満と答えた学生が最も多く 17 名であった。Q20 では現在アルバイトをしているかどうかを聞いた。その結果、アルバイトをしている学生は 26 名であった。Q20 でアルバイトをしていると答えた学生に Q21 でその内容を問うたが、スーパー、コンビニなどや工場で働く学生が最も多いことが明らかとなった（複数回答可）。彼らのアルバイトの時間は 1 週間に 20～25 時間未満とする答えが 14 名で最も多かった。Q23 は、アルバイトをする理由についての設問（複数回答可）であるが、生活費のためとする回答が圧倒的に多く、回答数は 18 であった。Q24 の 1 か月にかかる生活費に関しては、7～9 万円未満と答えた学生が最も多かったが、5 万円以上の学生が全体の多くを占めており、昨年度に比べて生活費が高くなっている。次に、Q25 で 1 日の平均睡眠時間を問うたが、6～7 時間未満が最多（11 名）であった。Q34 は生活での困りごと（複数回答可）について聞いたものだが、昨年度最も多かった生活の中で使う日本語がわからないとした回答は 2 番目に多い結果となり、今回は生活費が足りないが 14 で最も多い。

このように、全体的に昨年度と同様の結果となっているが、学習面の実態ではどうか。

2-4. 学習面の実態

学生の学習面は、Q26 の日本語学習における困りごと（複数回答可）で、去年最も多かった勉強しても上手くならないが 2 番目に多いものとなっており、最も多かったのが家で勉強する時間がないで 14 であった。また、Q26 で授業が難しくてわからないと答えた 6 名の学生に対しては Q27 で日本語の何が難しいのかを聞いている。ここでは、漢字と文法が 2 名ずつで、偏りはそれほど顕著なものではなかった。次に、Q28 では、日本語がなぜ難しいのかを聞いている。ここでは、自分が予習や復習をしていないからと答えた学生が 3 名いた。さらに、Q26 で授業がつまらないと答えた学生 3 名に対して、Q29、30 で何がつまらないのか、なぜつまらないのかと聞いているが、つまらない科目は漢字・文法・会話で、理由は教科書などがおもしろくない・先生の話が長すぎると答えている。一方、日本語以外の学習に関しては Q31（複数回答可）で日本語以外の科目で困っていることを聞いたが、最も多かったのが日本語以外の勉強で困っていることはないとする回答（16）であった。また、日本語と同様に授業が難しくてわからないと答えた学生 6 名に対して Q32 でなぜ難しいのかを問うたが、自分が予習や復習をしていないからであるという回答が 4 で最も多かった。併せて、授業がつまらないと答えた学生 3 名に対して、なぜつまらないのか（Q33）を問うたが、教科書などがおもしろくない・先生がちゃんと質問に答えてくれないという回答であった。

2-5. 進路に関する動向

次に、進路に関する動向をみてみよう。Q35 で、まず、学生らの希望する進路を問う

表 1 各設問の集計結果⁴

設問	選択肢																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
Q1：性別	24	13																	
Q2：国籍	20	15	2																
Q3：別科コースの別	5	32																	
Q4：日本を選んだ理由	25	11	19	20	6	7	7	2	1										
Q5：最終学歴	19	2	1	0	14	0	1												
Q6：日本滞在期間	6	7	23	1															
Q7：別科に直接か否か	11	26																	
Q8：入学前何を	25	1	0	1	0														
Q9：別科を知ったきっかけ	2	8	16	1	0	0													
Q10：別科を選んだ理由	11	25	11	11	12	6													
Q11：日本語学習期間	1	4	3	5	14	6	4												
Q12：JLPTの有無	5	8	11	2	6	5													
Q13：JLPTの必要性	30	7																	
Q14：EJU受験経験	12	25																	
Q15：EJU得点	1	2	5	3	1														
Q16：EJUの必要性	17	20																	
Q17：自習時間（日本語）	19	11	4	0	2	1													
Q18：自習時間（日本語以外）	23	7	3	2	1	1													
Q19：通学時間	6	17	9	4	1														
Q20：アルバイトをしているか	26	11																	
Q21：アルバイトの内容	9	11	1	0	2	0	11	1	1										
Q22：週あたりのアルバイト時間	1	0	1	4	14	6													
Q23：アルバイトをする理由	18	4	0	3	0	0	1												
Q24：月生活費	3	2	5	6	8	7	6												
Q25：睡眠時間	0	2	6	9	11	8	1												
Q26：日本語学習の困りごと	6	3	12	2	11	2	0	14	6	6	4								
Q27：何が難しい（日本語）	2	0	2	1	0	1	0	0											
Q28：なぜ難しい（日本語）	1	0	0	0	1	3	0												
Q29：何がつまらない（日本語）	1	0	1	0	0	1	0	0											
Q30：なぜつまらない（日本語）	2	0	0	0	1	0	0												
Q31：日本語以外学習の困りごと	6	3	0	1	14	2	16	3											
Q32：なぜ難しい（日本語以外）	0	0	0	2	0	4	0												
Q33：なぜつまらない（日本語以外）	2	1	0	0	0	0	0												
Q34：生活の困りごと	14	9	4	4	6	0	7	5	7	3									
Q35：卒業後進路	0	0	3	7	3	0	0	0	4	0	0	11	0	1	0	4	0	4	0
Q36：進路についての明確さ	5	18	14																
Q37：進路の情報集め進捗度	9	24	4																
Q38：進路の情報集めひとりでやるか	7	22	5	2	1														
Q39：日本で進学する理由	0	0	11	10	7	1	2	1											
Q40：日本で就職する理由	4	2	3	4	7	0													

4 回答数が最も多かったものは太字。

た。その結果、今年度も城西大学の短期大学に進学するとしている学生が7名と多かったが、これを抑えて他の大学の学部1年生に進学するが11名で最も多かった。次のQ36では、進路についての明確さを聞いたが、今考えているという回答が最も多く18名であった。これに加えて、Q37では進路の情報収集や準備などの進捗度を聞いた。これには24名の学生が、今していると答えている。また、Q38では、情報収集や準備等をどのようにして行うつもりなのかを問うた。その結果、22名の学生が、別科の先生や事務の先生に助けてもらうという選択肢を選んでおり、昨年度と同様に圧倒的に多かった。最後に、Q39で進学する理由、Q40で就職する理由をそれぞれ聞いた。Q39では、勉強したい専門があるからが、昨年度最も多かった卒業した後日本で就職しやすいからを抜いて最も多く、11名であった。Q40でも、昨年度最も多かった自分の国よりいい仕事があるからが、2番目となっており、最も多かったのは日本での生活を長く続けたいからであった。

以上のように集計の結果、いくつかの設問で偏りがみられた。また、各設問の回答を昨年度のものと比較すると昨年度と同じ傾向にあるものが多かったが、相違をみせるものもあった。このような設問のなかには昨年度の調査において挙げた課題への対策がどのような効果をもたらしたのかを検証しうるものもあった。したがって、次項でこれらの設問に関する分析・考察および検証を行い、今後別科が検討すべき課題の抽出と改善すべき対策等について論ずることとする。

3. 調査結果の分析および考察

ここでは、昨年度と今回の調査結果をふまえて特記すべきいくつかの点について分析・考察する。また、その際に昨年度あがった課題に対する取り組みの効果の検証も併せて行うこととする。

3-1. 各設問の相関関係

ここでは、昨年度と同じく、調査項目のうち数値（レベル）を選択するタイプの設問で調査対象者全員が回答したものについて相関の判定を行う。設問は、Q5（最終学歴）、Q11（日本語学習期間）、Q12（JLPTの取得級）、Q17（日本語の自習時間）、Q18（日本語以外の自習時間）、Q19（通学時間）、Q24（一か月の生活費）、Q25（睡眠時間）の8つである。

3-1-1. 最終学歴と日本語以外の科目との相関

昨年度は、最終学歴と日本語以外の科目との相関がみられた。これをうけて、別科の指針として、特にアカデミックな科目の多い日本文化専修課程を中心に、日本語以外の

科目の意義や学習方法についての説明機会を増やした。ここでは、その効果を明らかにするために再度、同条件で重回帰分析を行う。この結果で相関がみられない、或いはその相関が弱ければ、上記の指針はある程度の効果があったとみることができる。それでは、結果をみてみよう。表2は、昨年度と同条件下での重回帰分析結果である。これによると、最終学歴と日本語以外の科目との相関を示す係数は昨年度(+0.559)と比べて弱くなっていることがわかる。また、P値が5%を超えており、この係数は変数同士の相関を決定づけるものとはならない。つまり、最終学歴と日本語以外の科目との相関はみられないということになる。したがって、日本語以外の科目の重要性を説く機会を増やすことには一定の効果があったといえよう。

表2 目的変数「最終学歴」の重回帰分析結果

重相関係数		決定係数					
R	修正 R	R2 乗	修正 R2 乗	ダービンワトソン比	AIC		
0.4441	0.0586	0.1972	0.0034	2.2835	59.2327		
変数	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数	F 値	t 値	P 値	判定
Q11：日本語学習期間	-0.1648	0.2476	-0.1258	0.4431	-0.6656	0.5109	
Q12：JLPT 取得級	-0.1084	0.2761	-0.0871	0.1540	-0.3924	0.6976	
Q17：自習時間（日本語）	-0.1193	0.3044	-0.0735	0.1536	-0.3920	0.6980	
Q18：自習時間（日本語以外）	0.3896	0.3487	0.2412	1.2482	1.1172	0.2731	
Q19：通学時間	-0.5180	0.3783	-0.2506	1.8750	-1.3693	0.1814	
Q24：月生活費	0.1601	0.2526	0.1422	0.4019	0.6340	0.5311	
Q25：睡眠時間	-0.2585	0.3110	-0.1577	0.6912	-0.8314	0.4126	
定数項	5.1155	2.7999		3.3380	1.8270	0.0780	

Excel 統計 2010 による

3-1-2. JLPT 取得級との相関

前項の重回帰分析で使った各設問を昨年度と同様に目的変数を変えてそれぞれの相関をみてみた結果、昨年度と違い、いくつかの相関がみられたため、ここで論じることとする。

表3にあるように、Q12のJLPT取得級を目的変数とした場合、日本語学習期間・月生活費・睡眠時間と負の相関にあることが明らかとなった⁵。まず、日本語学習期間との負の相関であるが、これは、学習期間が長ければ長いほど、JLPT取得級の値が小さくなるということを示している。JLPT取得級は、値が低いほどレベルが高くなるため、この相関は当然であるが、昨年度はこの当然の結果すらみられなかったことになる。

5 説明変数「睡眠時間」は、P値がわずかに5%を上回っているが、ここでは有意性を認めることとする。

次に、月生活費との負の相関であるが、これは、月生活費が高くなると、それに併せて JLPT 取得級のレベルが高くなることを示している。つまり、日本語能力が高まると、出費が多くなるということであるが、これは、使える日本語の幅が広がることによって、例えば、娯楽を楽しむ余裕ができ、それに応じて出費も多くなるということではないかと考えられる。

さらに、睡眠時間との負の相関であるが、これは、しっかりと睡眠をとることによって日本語能力が高まることを示している。睡眠不足の状態では学習に対する集中力も低下してしまうことは明らかであり、学習した日本語の定着も期待できないのである。

表 3 目的変数「JLPT 取得級」の重回帰分析結果

重相関係数		決定係数					
R	修正 R	R2 乗	修正 R2 乗	ダービンワトソン比	AIC		
0.6638	0.5528	0.4406	0.3056	1.7354	29.6791		
変数	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数	F 値	t 値	P 値	判定
Q5：最終学歴	-0.0487	0.1242	-0.0607	0.1540	-0.3924	0.6976	
Q11：日本語学習期間	-0.3424	0.1548	-0.3254	4.8924	-2.2119	0.0350	*
Q17：自習時間（日本語）	0.0572	0.2045	0.0439	0.0783	0.2799	0.7816	
Q18：自習時間（日本語以外）	0.2122	0.2356	0.1635	0.8114	0.9008	0.3751	
Q19：通学時間	0.2812	0.2565	0.1693	1.2017	1.0962	0.2820	
Q24：月生活費	-0.4015	0.1534	-0.4437	6.8467	-2.6166	0.0140	*
Q25：睡眠時間	-0.3962	0.1978	-0.3008	4.0104	-2.0026	0.0546	
定数項	7.5198	1.4082		28.5163	5.3401	0.0000	**

Excel 統計 2010 による

3-1-3. 月生活費との相関

前項で月生活費と JLPT 取得級との負の相関がみられたが、月生活費を目的変数とした場合、表 4 にあるように、JLPT 取得級の他にも、日本語以外の科目の自習時間および通学時間と正の相関がみられた⁶。まず、日本語以外の科目の自習時間との正の相関であるが、これは、月生活費が高ければ、日本語以外の科目を自習する時間が長くなるということである。なぜこのような傾向がみられるのであろうか。月生活費が高い学生は、アルバイト収入、或いは支弁者からの仕送りが十分にあり、生活水準の高い学生であると言えよう。アルバイト収入が多い学生の場合は、アルバイト時間も長くなるため、自習時間が減ってしまうが、支弁者からの仕送りによって生活している学生の場合、時間的な余裕も十分にあり、そのため、日本語以外の科目を自習する時間が長くなる傾向

6 説明変数「通学時間」は、P 値がわずかに 5% を上回っているが、ここでは有意性を認めることとする。

にあると考えられる。

次に通学時間との正の相関であるが、これは、月生活費の高さと通学時間の長さが比例していることを示している。通学時間の長い学生は概ね東京都や埼玉県の都市部などに住んでいる。このような地域は大学周辺にくらべて、家賃が非常に高い。また、娯楽なども豊富にあることから出費の機会も増加するのであろう。

表 4 目的変数「月生活費」の重回帰分析結果

表重相関係数		決定係数					
R	修正 R	R2 乗	修正 R2 乗	ダービンフトソン比	AIC		
0.6762	0.5712	0.4573	0.3263	2.0967	35.9575		
変 数	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数	F 値	t 値	P 値	判定
Q5：最終学歴	0.0854	0.1347	0.0961	0.4019	0.6340	0.5311	
Q11：日本語学習期間	-0.1033	0.1812	-0.0888	0.3253	-0.5704	0.5728	
Q12：JLPT 取得級	-0.4757	0.1818	-0.4305	6.8467	-2.6166	0.0140	*
Q17：自習時間（日本語）	0.0181	0.2228	0.0126	0.0066	0.0813	0.9357	
Q18：自習時間（日本語以外）	0.6494	0.2304	0.4527	7.9469	2.8190	0.0086	**
Q19：通学時間	0.5184	0.2682	0.2824	3.7350	1.9326	0.0631	
Q25：睡眠時間	-0.0463	0.2296	-0.0318	0.0407	-0.2017	0.8415	
定数項	4.2086	2.0123		4.3740	2.0914	0.0454	

Excel 統計 2010 による

3-2. 日本語学習における悩みに関して

ここでは、昨年度、課題として明らかとなった日本語科目に関する回答についてみていきたい。Q26 は日本語学習に関する困りごとについての設問（複数回答可）であるが、選択肢の中で「3. 勉強しても上手にならない」、「5. 教室以外で日本語を使う機会がない」、「8. うちで勉強する時間がない」を選択した学生が特に多かった（図 1）。昨年度はこれらに加えて「1. 授業が難しくてわからない」も多かったが、今年度はそれほど多くはない。これは、授業が分かりやすくなったのか、或いは学生の質が上がったためなのか定かではないが、好ましい傾向であるといえよう。選択肢 8 に関しては、昨年度と同様に学生のプライベートの問題であるため、別科としての対策やサポートを展開するのが難しいとの判断でここでは論及しない。さて、ここでは選択肢 3 および 5 について考察してみよう。

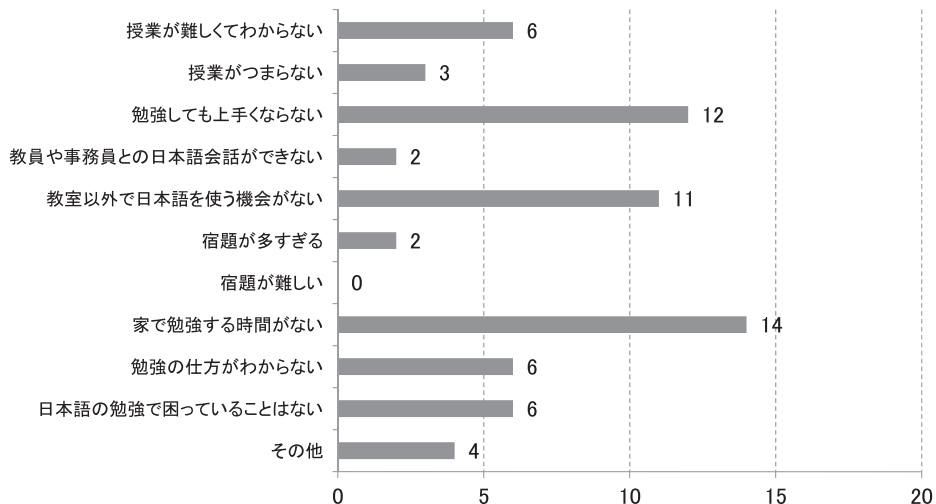


図1 Q26. 今、日本語の勉強で困っていることがありますか。(複数回答可)

3-2-1. 勉強しても上手にならない

Q26では、「3. 勉強しても上手にならない」と答えた学生は12名で、選択肢の中で2番目に多かった。昨年度も述べたが、これは授業の効果があらわれていないということであり、非常に大きな課題である。昨年度と同じく12名の学生を抽出して他の設問をみると、まずこの学生らは日本文化専修課程の学生に限定されているという特徴はあるが、クラスの別で偏りはみられなかった。さらに他の設問でも特筆すべき傾向がみられないことから、今回の調査結果だけでは、その理由を特定するのは難しい。これは、勉強しても上手にならないとする学生らの到達目標について把握できれば、ある程度理由の特定ができると思われる。とまれ、上記のように日本文化専修課程に限定されていることから当該課程の学生全体の課題と考えるべきであることがわかる。したがって、今後もこの動向を注視していきたい。

3-2-2. 教室以外で日本語を使う機会がない

5の「教室以外で日本語を使う機会がない」と答えた学生は、11名と3番目に多いが、他の設問との相関をみても、顕著な傾向はみられない。昨年度は同様の傾向がみられたため、授業時間で日本人との会話や討論の機会を創出することを対策とした。そのため、今年度前期には日本文化専修課程のU1クラスでは、経済学部のフレッシュマンセミナーを受講している学生と合同ゼミと称してグループディスカッションを1回おこなった。しかし、この選択肢を選んだ学生の中にはU1クラスの学生が3名含まれていることから、この1回だけでは不足していたのかもしれない。ただし、選択肢が「教室以外で日本語を使う機会がない」であるため、授業内で機会を増やしてもこの選択肢を選ぶ

可能性がある点について注意したい。また、日本語専修課程の学生のうち各クラス2名ずつが、この選択肢を選んでいた。日本語専修課程のG1クラス（春期入学）およびG2クラス（秋期入学）では、各クラスの後期の授業で学生にキャンパス内におけるアンケート調査をおこなわせている。しかし、本アンケートを実施した時期は、G1クラスは後期が始まったばかりであり、また、G2クラスは前期である。したがって、アンケート調査は実施できていない。今後、学生がキャンパス内でのアンケート調査をおこなった際にこの設問に対してどのように回答するかは不明であるが、現段階で日本語を使用する機会が不足していると感じていることは明らかである。現状では、学生自身が日本人との会話や討論をおこなえる環境を創出することができていないと考えられる。これらを踏まえると、教員以外の日本人と会話や討論ができるような時間は、別科のカリキュラムを構築するにあたって、きわめて重要な項目といえよう。

3-3. 自習時間の少なさ

ここで、今年度の学生の特性として授業以外の時間における自習時間の少なさについて論及しておこう。図2は、日本語の自習時間についての設問の回答をグラフにしたものであるが、これをみると、7時間未満（1週間）と答えた学生が圧倒的に多く、別科の学生37名のうち半数以上が授業以外での学習時間が1日1時間未満という結果となっている。昨年度も少なかったが、7～14時間と答えた学生が最も多かったことから、昨年度を下回っていることがわかる。また、図3にあるように日本語以外の科目に関しても7時間未満が圧倒的に多く23名となっている。今年度の学生は昨年度に比べてJLPTの取得級も高い水準となっているが、日本語に関する学習はある程度目途がついたため、日本語以外の学習に励んでいるというわけでもないようである。そのため、総じて自習時間の少なさが目立った結果となっている。

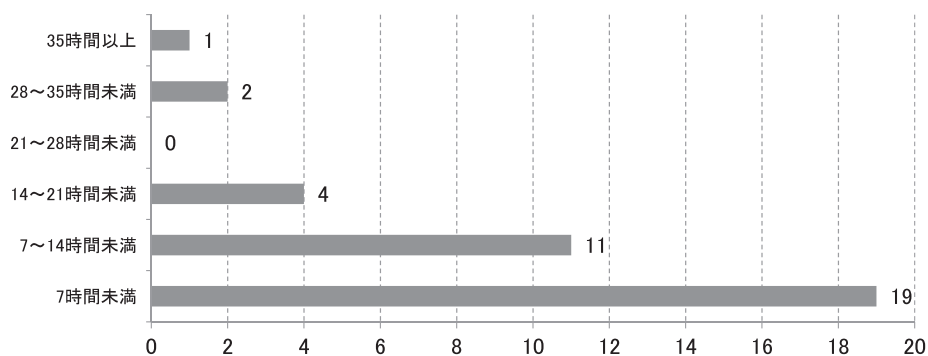


図2 日本語の自習時間

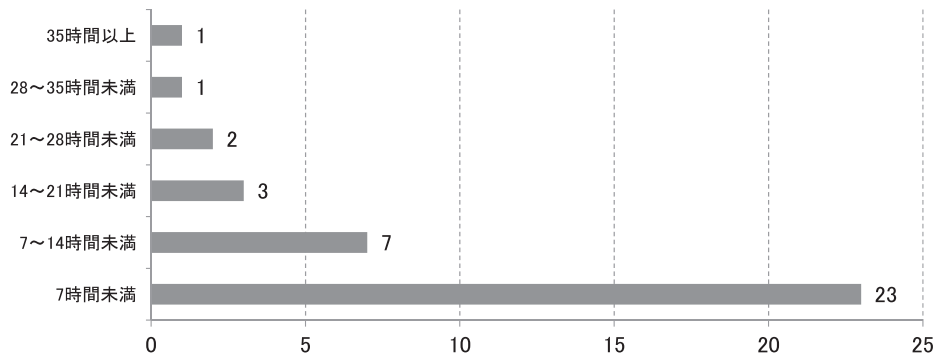


図3 日本語以外の科目の自習時間

それでは、なぜ自習時間がこのように短くなってしまっているのかについて考察してみよう。まず、日本語の自習時間が7時間未満と答えた学生19名に絞って他の設問の回答をみると、アルバイトをしている学生が19名中12名（63%）で、別科全体のアルバイトをしている学生の割合（70%）と比べて低くなっている。しかし、週あたりのアルバイト時間についてしてみると、別科全体の場合では20～25時間が圧倒的に多かったのに対して、自習時間の短い学生の場合は、20～25時間と25時間以上が4名ずつで同数なのである。したがって、日本語の自習時間が少ない学生はアルバイトの時間が多い傾向にあるということがわかる。

次に、日本語以外の科目ではどうであろうか。こちらも7時間未満と答えた学生に限定して他の設問の回答をみてみた。その結果、アルバイトをしている学生は19名（82%）おり、別科全体の場合よりその割合が高くなっている。しかし、週あたりの時間は20～25時間が最も多く11名で、25時間以上は5名にとどまっている。したがって、アルバイトによって時間が大きく不足しているわけではないとみられる。

このような自習時間の少なさにアルバイト以外の時間、つまり通学時間が長いなどの別の要因が作用しているかと思われたが、本アンケートの結果からはそのような傾向はみられなかった。したがって、単純に自習をする意思がなかったとも考えられる。であるならば、宿題やレポート等を課してもその成果は期待できず、授業時間内ですべての内容が完結するようなシラバスが求められることになってしまう。これは、近年、高等教育において盛んに試みられている反転授業など、新たな授業形態を別科において実施することが困難であることを示している。

3-4. 学生の希望進路

ここでは、昨年度課題として挙げた学生の希望進路（Q35）について検討したい。昨年度は、まだわからないと選択した学生が2番目に多く、これを選択した学生の進路のための準備も受身的であった点が問題として挙がり、今後の対策として教員側が積極

的に介入するとともに、検索リテラシーの向上を図ることを掲げた。それでは、今年度の状況をみてみよう。図4は、今年度の学生の希望進路である。これをみると、昨年度問題となっていた、まだわからないとする学生はおらず、学生らがしっかりと進路を選択していることがわかる。したがって、学生の進路決定に積極的に教員側が介入するといった対策は一定の効果をみせているものと思われる。

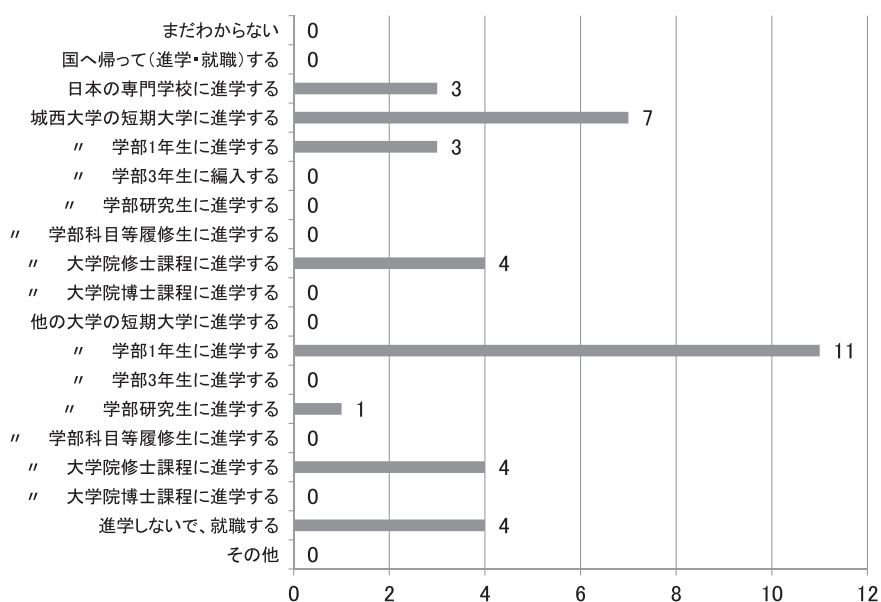


図4 卒業後の進路

また、他の選択肢をみてみると、昨年度と比べて、専門学校への進学を希望する学生が減少しており、反対に他校の学部に進学しようとする学生が増加していることがわかる。これは今年度の学生が高学歴を志向する傾向にあるということである。このような高学歴を志向することは歓迎すべきものであるが、それを実現するためには一定の日本語能力が必要となる。しかし、日本語能力を高めるための自習時間が短いという現状では、学生らが希望している進路に確実に進めるかどうかについては疑問が残ってしまう。

前述の学生の進路決定に積極的に教員側が介入するといった対策は効果があったようであるが、学生の主体性に関してはどうであろうか。図5は進路のための情報収集であるが、昨年度は別科の先生や事務の先生に助けを求めると答えた学生が圧倒的に多かったが、今年度も全く同じ傾向にあることがわかる。したがって、検索リテラシーの向上を促す対策は効果がなかったと考えられる。

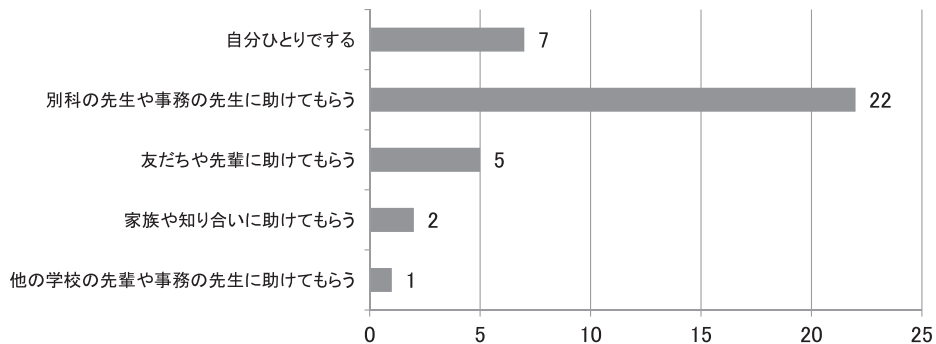


図5 進路のための情報収集

4. おわりに

本稿では、本年度の別科の学生に対するアンケート調査結果を、昨年度のアンケート調査によって明らかとなった課題を念頭に分析や考察をおこなってきた。その結果、昨年度立てた対策の効果や新たに生じた課題が明らかとなった。ここでは、それらを改めて整理するとともに、今後の別科の方針を明示したい。

まず、分析・考察によって明らかとなった昨年度立てた対策の効果について整理してみよう。はじめに、日本語以外の科目の重要性を説く機会を増やすことについては効果がみられた。しかし、日本人と会話や討論ができるような時間を創出したが、効果はみられなかった。また、学生の進路については、進路決定に積極的に教員側が介入するといった対策は一定の効果がみられた。しかし、検索リテラシーの向上を促すことによって学生の主体性を高めるといった対策は効果がみられなかった。

次に、課題について整理したい。まず、昨年度も課題として挙げた勉強しても上手くならないとする学生が多数いる点である。次に、対策の効果でも述べたように日本人との会話機会の創出が不足しているという点と学生が受身的であるという点である。また、自習時間の少なさも課題であるといえよう。さらに、この課題の原因を解明できない限り、反転授業等の実施が難しくなってしまうという点も課題として挙げられる。

以上のように本調査では、昨年度立てた対策では効果がみられなかった点およびいくつかの課題が明らかとなった。これらをふまえて今後の別科がとるべき方策を4つ提示する。1つ目は、今回は原因が明らかにならなかった勉強しても上手くならないとする学生について、来年度行う調査で到達目標を問うなど、さらに掘り下げたものにする事である。2つ目は、日本人と会話をする機会を昨年度以上に積極的に提供し、また、学生が会話の機会を自ら創出するよう促す事である。3つ目は、検索リテラシーの向上のみならず、積極的に学校説明会などへの参加を促すことによって学生の主体性を高

めたい。最後に、自習時間の少なさであるが、現状では対策を立てられないため今後注視しつつ、来年度の調査で原因を解明できる設問を立てることとする。

参考文献

日本学生支援機構（2016）『平成 27 年度 私費外国人留学生生活実態調査』

小宮修太郎、長能宏子、平形裕紀子（1998）「日本人の会話とその教育に関する留学生の意識調査—中国人、韓国人、台湾人の回答結果を中心に—」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』13号 pp.129-162

小宮修太郎、長能宏子、平形裕紀子（2001）「日本人の話し方について留学生が持つ印象とその要因—中国人・韓国人・台湾人留学生の比較—」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』16号 pp.47-82

ねんあきがつき べつ か せい せいかつじつたい いしきちよう さ
2018年秋学期 別科生の生活実態・意識調査
アンケート用紙

このアンケートは、先生たちが、今別科で勉強しているみなさんのことをよく知って、みなさんと、これから別科に入るみなさんのために、いい授業をしたり、いい環境を作ったり、いい進路指導をするために使います。

アンケートには、名前を書かなくてもいいです。アンケートでわかったことは、別科2018年度の『年報』で別科の先生や別科以外の先生たちにも知らせますが、みなさんのプライバシー(privacy)は守りますのでご協力をお願いします。

● アンケートの答え方

- ・質問の答えを選んで、番号に○をつけてください。
- ・「その他」を選んだ人は、()の中に、あなたの答えを書いてください。
()がない場合は書かなくてもいいです。

—アンケート (Questionnaire) —

- あなたのことについて教えてください。

Q1: 性別(gender)は、どちらですか。

1. 男 (Male) 2. 女 (Female)

Q2: 出身国はどこですか。

1. 中国 2. ベトナム 3. その他の国

Q3: 今、別科のどちらの課程で勉強していますか。

1. 日本語専修課程(Gクラス) 2. 日本文化専修課程(Uクラス)

●日本に留学する前のことについて教えてください。

Q4: どうして日本を選びましたか。

* 3つまで選んでもいいです。

1. 日本の専門学校や大学などの教育、専門に興味があったから
2. 日本と関係がある仕事があったから
3. 日本語を勉強しなかったから
4. 日本文化や日本社会に興味があって、日本で生活しなかったから
5. 自分の国から近いから
6. 国の友だち、知り合い、家族などに勧められたから
7. 日本に家族や、友だちや、知り合いなどがいるから
8. たくさんアルバイトができると思ったから
9. その他 ()

Q5: あなたが、自分の国で最後に卒業した学校は何ですか。

1. 高校
2. 専門学校
3. 短期大学
4. 大学 (3年)
5. 大学 (4年)
6. 大学院
7. その他 ()

●留学ビザまたは家族ビザで日本に来てから、城西大学別科に入学するまでのことについて教えてください。

Q6: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来てから、何年になりますか。

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年以上

Q7: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来たあと、城西大学別科にすぐ入学しましたか。

1. はい (Q10へ進んでください)
2. いいえ (Q8へ進んでください)

Q8: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来たあと、城西大学別科に入学する前は何をしていましたか。

* 一番最近のものを1つだけ選んでください。

1. 日本語学校で勉強していた
2. 学部研究生や、科目等履修生として勉強していた
3. 専門学校で勉強していた
4. 家族と一緒にいた
5. その他 ()

Q9: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来たあと、どうやって一番最初に城西大学別科を知りましたか。

1. インターネットなどを使って自分で見つけた
2. 先輩や友達に聞いた
3. 日本語学校や、専門学校の先生に聞いた
4. 家族、親戚、知り合いから聞いた
5. 城西大学別科の説明会を聞いた
6. その他 ()

Q10: どうして城西大学別科を選びましたか。* 3つまで選んでもいいです。

1. 他の学校より授業料が安いから
2. 授業の内容がよさそうだから
3. 大きい大学だから
4. きれいな大学だから
5. 城西大学の学部や大学院や短大に進学したいから
6. その他 ()

●今の勉強や、生活について教えてください。

Q11: 今までどのぐらい日本語を勉強しましたか。

1. 6か月未満
2. 6か月～1年未満
3. 1年～1年6か月未満
4. 1年6か月～2年未満
5. 2年～2年6か月未満
6. 2年6か月～3年未満
7. 3年以上

Q12: 日本語能力に関する資格(日本語能力試験 JLPT)を持っていますか。

1. N1
2. N2
3. N3
4. N4
5. N5
6. 持っていない

Q13: 次の進学や就職のために日本語能力試験 (JLPT) に合格する必要がありますか。

*必要がある人は、合格しなければならないレベルに○をつけてください。

1. はい、必要あります [N1 N2 N3]
2. いいえ、必要ありません

Q14: 日本留学試験 (EJU)を受けたことがありますか。

1. はい、あります (Q15へ進んでください)
2. いいえ、ありません (Q16へ進んでください)

Q15: 日本留学試験 (EJU)の日本語科目の得点は何点でしたか。

1. 100～150点
2. 151～200点
3. 201点～250点
4. 251点～300点
5. 301点以上

Q16: ^{つぎ} 次の進学のために日本留学試験 (EJU) ^{じゅけん} を受験する必要がある ^{ひつよう} がありますか。

^{ひつよう} *必要がある人は、必要な得点に○をつけてください。

1. はい、必要あります [¹⁵¹~²⁰⁰点 ²⁰¹~²⁵⁰点 ²⁵¹~³⁰⁰点 ³⁰⁰点以上]
2. いいえ、必要ありません

Q17: ^{じゅぎょう} 授業以外で1週間に何時間ぐらい日本語の勉強 ^{べんきょう} をしていますか。

1. 7時間未満
2. 7~14時間未満
3. 14~21時間未満
4. 21~28時間未満
5. 28~35時間未満
6. 35時間以上

Q18: ^{じゅぎょう} 授業以外で1週間に何時間ぐらい日本語以外の科目 ^{かもく} の勉強 ^{べんきょう} をしていますか。

1. 7時間未満
2. 7~14時間未満
3. 14~21時間未満
4. 21~28時間未満
5. 28~35時間未満
6. 35時間以上

Q19: ^{いま} 今住んでいる家から、城西大学まで(片道)どのくらいかかりますか。

1. 30分未満
2. 30分~1時間未満
3. 1時間~1時間30分未満
4. 1時間30分~2時間未満
5. 2時間以上

Q20: アルバイトをしていますか。

1. はい (Q21 ^{すす} へ進んでください)
2. いいえ (Q24 ^{すす} へ進んでください)

Q21: ^{いま} 今、どんなアルバイトをしていますか。

^{えら} *3つまで選んでもいいです。

1. 居酒屋、レストランなど
2. スーパー、コンビニなど
3. ホテルの受付
4. 翻訳・通訳
5. 倉庫 (整理・仕分け)
6. 引越し
7. 工場
8. ホテルの清掃やベッドメイキング
9. その他 ()

Q22: ^{しゅうかん} 今、1週間に何時間アルバイトをしていますか。

1. 5時間未満
2. 5~10時間未満
3. 10~15時間未満
4. 15~20時間未満
5. 20~25時間未満
6. 25時間以上

Q23: なぜアルバイトをしていますか。

*1番大きい理由をひとつだけ選んでください

1. 生活費 (家賃、食費、電気、水道、保険料など)
2. 学費 (学校に払うお金)
3. 好きな物を買ったり、好きなことをしたいから
4. 日本語の練習をしたいから
5. 国の家族へ送りたいから
6. 日本へ来るとき借りたお金を返さなければならないから
7. その他 ()

Q24: 1か月の生活費 (学費以外) はいくらぐらいですか。

1. 10,000円未満
2. 10,000~30,000円未満
3. 30,000~50,000円未満
4. 50,000~70,000円未満
5. 70,000~90,000円未満
6. 90,000~100,000円未満
7. 100,000円以上

Q25: 毎晩、家で寝る時間はだいたい何時間ぐらいですか。

1. 3時間未満
2. 3時間~4時間未満
3. 4時間~5時間未満
4. 5時間~6時間未満
5. 6時間~7時間未満
6. 7時間~8時間未満
7. 8時間以上

Q26: 今、日本語の勉強で困っていることがありますか。

*3つまで選んでもいいです。

1. 授業がむずかしくてわからない
2. 授業がつまらない
3. 勉強してもじょうずにならない
4. 先生や事務の先生と日本語で話ができない
5. 教室以外で日本語を使う機会がない
6. 宿題が多すぎる
7. 宿題がむずかしくてわからない
8. 家で勉強する時間がない
9. 勉強のしかたがわからない
10. 日本語の勉強で困っていることはない
11. その他 ()

Q27: Q26で、1を選んだ人だけ答えてください。

日本語の授業で、何がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

1. 漢字
2. 語彙(ことば)
3. 文法
4. 読解
5. 聴解
6. 会話
7. 作文
8. その他 ()

Q28: Q26で、1を選んだ人だけ教えてください。

どうして日本語の授業がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 先生の話すスピードが速いから | 2. 先生の説明のことがむずかしいから |
| 3. 先生の声が小さい・聞きにくいから | 4. 教科書などがむずかしいから |
| 5. 授業のスピードが速いから | 6. 自分が予習や復習をしていないから |
| 7. その他 () | |

Q29: Q26で、2を選んだ人だけ教えてください。

日本語の授業で、何がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

- | | | | | |
|-------|------------|------------|-------|-------|
| 1. 漢字 | 2. 語彙(ことば) | 3. 文法 | 4. 読解 | 5. 聴解 |
| 6. 会話 | 7. 作文 | 8. その他 () | | |

Q30: Q26で、2を選んだ人だけ教えてください。

どうして日本語の授業がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. その科目に興味がない | 2. 教科書などがおもしろくない |
| 3. 先生がちゃんと質問にこたえてくれない | 4. 先生が親切じゃない |
| 5. 説明が多すぎる | 6. 先生が授業に関係のない話ばかりする |
| 7. 授業が単調(Monotony/ 単調 / Đơn điệu) | 8. その他 () |

Q31: 今、日本語以外の科目の勉強で困っていることがありますか。

*3つまで選んでもいいです。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 授業がむずかしくてわからない | 2. 授業がつまらない |
| 3. 宿題が多すぎる | 4. 宿題がむずかしくてわからない |
| 5. 家で勉強をする時間がない | 6. 勉強のしかたがわからない |
| 7. 日本語以外の科目の勉強で困っていることはない | |
| 8. その他 () | |

Q32: Q31で、1を選んだ人だけ教えてください。

どうして日本語以外の科目の授業がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 先生の話すスピードが速い | 2. 先生の説明のことがむずかしい |
| 3. 先生の声が小さい・聞きにくい | 4. 教科書などがむずかしい |
| 5. 授業のスピードが速い | 6. 自分が予習や復習をしていない |
| 7. その他 () | |

Q33: Q31で、2を選んだ人だけ答えてください。

どうして日本語以外の科目の授業がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

1. その科目に興味が無い
2. 教科書などがおもしろくない
3. 先生がちゃんと質問にこたえてくれない
4. 先生が親切じゃない
5. 説明が多すぎる
6. 先生が授業に関係のない話ばかりする
7. 授業が単調 (Monotony / 单调 / Đơn điệu)
8. その他 ()

Q34: 今、生活で困っていることがありますか。*3つまで選んでもいいです。

1. 生活費が足りない
2. 生活の中で使う日本語がわからない
3. 住んでいる家や部屋に問題がある
4. アルバイト先に問題がある
5. 体の調子が悪い
6. 保険証を持っていないため、病院へ行けない
7. 困ったとき、相談できる人がいない
8. 友だちができない
9. 生活で困っていることはない
10. その他 ()

●別科を卒業したあとの予定について教えてください。

Q35: 別科を卒業したあとの予定は何ですか。

1. まだわからない
2. 国へ帰って (進学・就職) する
3. 日本の専門学校に進学する
4. 城西大学の短期大学に進学する
5. // 学部1年生に進学する
6. // 学部3年生に編入する
7. // 学部研究生に進学する
8. // 学部科目等履修生進学する
9. // 大学院修士課程に進学する
10. // 大学院博士課程に進学する
11. 他大学の短期大学に進学する
12. // 学部1年生に進学する
13. // 学部3年生に編入する
14. // 学部研究生に進学する
15. // 学部科目等履修生進学する

16. // だいがくいんしゅう し かてい しんがく 大学院修士課程に進学する
17. // だいがくいんはく し かてい しんがく 大学院博士課程に進学する
18. しんがく 進学しないで、にほん しゅうしよく 日本で就職する
19. その他 ()

●日本の学校に進学したい人と、日本で就職したい人だけ答えてください。

Q36: しんがくさき がっこう べんきよう 進学先の学校で勉強したいことや、しゅうしよくさき しごと 就職先でしたい仕事は、はっきりしていますか。

1. なに まだ何も かんが 考えていない 2. いまかんが 今考えている 3. もう もう、はっきりしている

Q37: しんがく しゅうしよく 進学や就職のための じょうほうあつ 情報集めや じゅんび 準備はしていますか。

1. まだ まだしていない 2. いま 今している 3. もう もう終わった

Q38: しんがく しゅうしよく 進学や就職のための じょうほうあつ 情報集めや じゅんび 準備はどれとしますか。

*ひとつだけ選んでください。

1. じぶん 自分ひとりでする 2. べつか 別科の先生や事務の先生に助けてもらう
3. とも 友だちや先輩に助けてもらう 4. かぞく 家族や知り合いに助けてもらう
5. ほか 他の学校の先生や事務の先生に助けてもらう

●日本の学校に進学したい人だけ答えてください。

Q39: どうして日本の学校に進学したいのですか。 *1番大きい理由をひとつだけ選んでください。

1. じゅぎょうりやう 授業料が安いから 2. にゅうがく 入学試験が簡単だから
3. べんきよう 勉強したい専門があるから 4. そつぎょう 卒業したあと、日本で就職したいから
5. そつぎょう 卒業したあと、自分の国で就職しやすいから
6. おや 親が希望しているから 7. にほん 日本での生活を長く続けたいから
8. その他 ()

●日本で就職したい人だけ答えてください。

Q40: どうして日本で就職したいのですか。 *1番大きい理由を選んでください。

1. じぶん 自分の国より しゅうにゅう 収入がいいため 2. じぶん 自分の国よりいい仕事があるため
3. かぞく 家族が希望しているため 4. じぶん 自分がしたい仕事ができるため
5. にほん 日本での生活を長く続けたいため 6. その他 ()

●城西大学別科の授業、教室環境、進路指導などについて、希望があったら自由に書いてください。

Q41: 授業について希望があったら自由に書いてください。

<日本語の授業について>

<日本語以外の科目の授業について>

Q42: 教室の環境について希望があったら自由に書いてください。

Q43: 進路指導について希望があったら自由に書いてください。

Q44: その他、希望があったら何でも自由に書いてください。

これでおわりです。ご協力ありがとうございました。